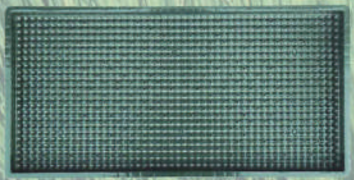
苗半作!! 大切な言葉です。進化する育苗箱

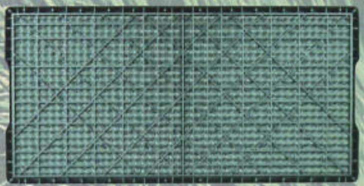
円錐カット育苗箱

健苗作りに役立つ育苗箱

実用新案登録第3022229号

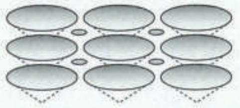


（表）



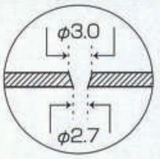
（裏）

■ 円錐カット部



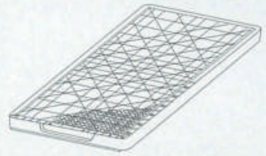
角がないため根まきがよく健苗作りに役立ち、そして保水性がよく床土の移動が少ない構造です。

■ テーパー構造の水穴



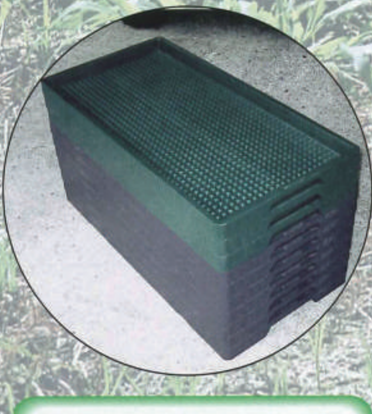
床土の流れ落ちにくい構造。また水穴は中央部に多く配置されており、たわみによる過湿状態を少なくする構造です。

■ 特別設計の裏リブ配置



加温時の変形を少なくし、ベルト式、ローラー式播種機でも箱がハネにくい。

●スカート部が長いのでセンサー感度がよく全自動播種プラントに対応



●独自の嵌合部の設計により積み重ねがより安定

標準規格

寸法　外寸	608×306×37m/m
内寸	582×281×30m/m
円錐総数	1104（直径11×3.5m/m）
水穴総数	テーパー方式 248個（直径3.0−2.7m/m）
水穴空げき率	0.868%
色	グリーン・ブラック

根の発育・及び根の状態の比較

根の発育

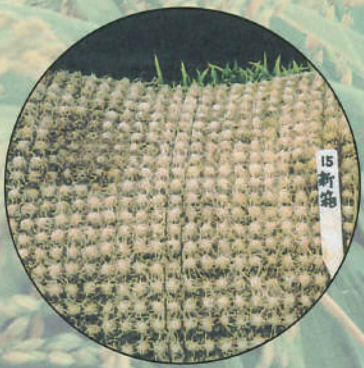
円錐カット育苗箱使用

一般タイプ使用

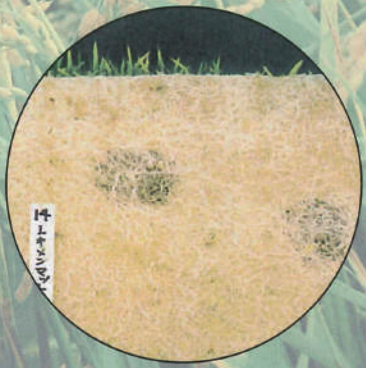
円錐カット使用時、苗床がポット状の為、短期間でも根の伸び方が一定で、強度があり、稲の初期成育も良くなります。（一般タイプ使用時には、右側の写真の様に、根の伸び方にバラつきが出ます）

根の状態

円錐カット育苗箱使用



一般タイプ使用



短期間での根張りが良好な為、田植えした際、苗の活着が良い。（一般タイプは根ツキが、まばらになっています。）